

世人ノ附會セシナルベシ、

〔享保集成絲綸錄三十六〕慶安二丑年二月

二月

〔享保集成絲綸錄十九〕寛文八申年三月

覺

一金銀之から紙、破魔弓、羽子板、雛の道具、五月之甲、金銀之押箔、一圓ニ無用之事。略中

右之通江戸町中へ、從町奉行相觸候間、可被得其意候以上、

三月日

〔享保集成絲綸錄十九〕元祿十七申年二月

覺

一はま弓、菖蒲甲、束帶之雛、并雛の道具結構ニ仕間敷候。略中

右之通被仰出候間、急度可相守候以上、

〔享保集成絲綸錄三十六〕享保六丑年七月

覺

一雛 八寸より上可爲無用、近年結構成雛、段々有之候間、次第を追而輕く可仕事、

一同道具 梨子地者勿論、蒔繪無用ニ仕べく候、上之道具たりとも、黒塗に可仕候金銀かな物可爲無用事。略中

右之通り職人共江可被相觸候以上、

七月